

行政書士として 知っておかなければならない法律知識

市民法務部

Season 2 第8回

外務省への手続であるアポステイーユと公印確認とは

1. 手続の概要

アポステイーユと公印確認は、両者とも外務省への手続であり、日本の官公署や自治体等が発行する公文書に対して外務省が証明（以下「当該証明」という）を行うものです。

外国側からみた場合、その公文書が日本国内で発行された真正なものかどうかはわかりません。そのため、日本の公文書を提出する際には、その公文書が日本国内で発行された真正なものであることを外務省が証明します。

当該証明が求められる場面としては「婚姻」「離婚」「出生」「査証取得」「会社設立」「不動産購入」等に係る手続を外国で行うにあたり、日本の公文書を提出する必要がある場合が考えられます。

このような場合において、以下のいずれかに該当するときには当該証明を得る必要性が生じます。

- ①外国の提出先機関から、外務省の証明を取得するように求められたとき。
- ②日本にある提出先国の大使館や領事館（以下「駐日外国大使館等」という）から領事認証を取得する際に外務省の証明を求められたとき。

よって、外国の提出先機関や駐日外国大使館等が求めている場合にのみ必要なものであるため、当該証明を得る必要性については、まず提出先に確認することが重要です。

2. アポステイーユとは

1961年10月5日に採択されたハーグ条約（外国公文書の認証を不要とする条約）に基づいて、外務省が付箋（＝アポステイーユ）による証明を行うものです。

提出できる国は「ハーグ条約の締約国のみ」です。

アポステイーユを取得すると駐日外国大使館等の領事認証があるものと同等として扱われることから、駐日外国大使館等からの領事認証を取得せずとも提出先国で使用することができるもので、締約国同士では手続が簡略化できる制度といえます。

この点、提出先国がハーグ条約の締約国であっても、領事認証が必要となり、公印確認を求められる場合がありますので、後々の問題を避けるためにも、事前に提出先または駐日外国大使館等に確認しておいた方が確実です。

なお、ハーグ条約に加入していない国へ提出する公文書の証明については、アポステイーユではなく、全て公印確認となります。

（流れ）

日本で公文書を取得 → 外務省でアポステイーユの証明を得る → 外国の提出先へ

3. 公印確認とは

駐日外国大使館等から領事認証を取得する際に、事前に必要となる外務省の証明のことです。

公文書上に押印されている「公印」について、外務省がその公文書上に証明を行うものであり、公印確認を受けた後は駐日外国大使館等から領事認証を取得する必要があります。

外務省における公印確認は、それ単独では使用できず、その後の駐日外国大使館等での領事認証が必要となる証明であり、駐日外国領事による認証を受けてから提出国の関係機関へ提出します。

提出先機関の意向で日本外務省の公印確認ではなく、現地にある日本大使館や総領事館の証明が求められている場合があります。外務省で公印確認を受けた書類は、現地日本大使館や総領事館で重ねて証明することはできないので注意が必要です。

(流れ)

日本で公文書を取得 → 外務省で公印確認の証明を得る
→ 駐日外国大使館等で領事認証を得る → 外国の提出先へ

4. 証明できる書類とは

証明の対象となるものは以下3点の要件を満たす公文書であり、書類であれば何でも証明できるわけではありません。

- ① 発行日付が記載されていること (発行日から3ヵ月以内のもの)
- ② 発行機関 (発行者名) が記載されていること
- ③ 個人印や署名ではなく、公印が押されていること

※ 要件には入っていませんが、ホチキスを外した文書や加筆した文書は受付されませんのでご注意ください。

なお、原則として私文書の証明はできませんが、公証人の認証を受けたもので、その公証人が所属する法務局長による公証人押印証明があれば、公文書として証明の対象となります。

この点、各都道府県の公証役場によってはワンストップサービス等の異なった取扱いもありますので、詳細は外務省のウェブサイトをご覧ください。

茨城県内の公証役場においては「公証人の認証」と「法務局長の公証人押印証明」を一度に取得できる取扱いであり、公証人の認証を受けた後は、法務局を経ずともそのまま外務省での手続を行うことができます。

(2022年10月3日現在の情報)

以上の内容の詳細については、外務省のウェブサイトで確認できますので、ご興味がある方はご覧ください。

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/shomei/index.html>



日本行政書士会連合会 公式キャラクター ユキマサくん